

DE&Iを知る、感じる、繋がる3日間

3 DAYS TO UNDERSTAND, EXPERIENCE, AND ENGAGE WITH DE&I.

DAY1 : 5.14 (TUE)

15:00-15:40 TALK SESSION

IT'S SOLIT! DUH!-ファッション視点で語る多様性

私たちがバンクーバーファッションコレクションで実現した、「ファッションにおける多様性」の実践に関するトークセッションです。ファッションにおける多様性に伴う課題として、①形状・デザインにおける課題、②モデルのダイバーシティ、③ショーにおけるレプレゼンテーション（多様な当事者を起用すること）が挙げられます。SOLITはファッションサービスとしてより多様な人が着やすいファッションのデザインを実現するだけでなく、今回のファッションコレクションでは起用するモデルのダイバーシティとその起用をすることによる社会構造に対する問題提起を行いました。セッションの中ではその課題背景と実践した解決方法の共有を行います。

ファシリテーター・FACILITATOR



和田 菜摘 / NATSUMI WADA

SOLIT株式会社 環境・人権担当。1994年生まれ、東京都出身。英国在住。学生時代は国際開発学を専攻するためにイギリスの大学に進学。大学院にて人類学を基盤とするビジネスの在り方を研究。卒業後に「SOLIT株式会社」に加入。社会課題をビジネスの力で改革する魅力と影響力を身をもって発信していきたい。

話す人・SPEAKER



芳坂 映由花 / HAYUKA YOSHIZAKA

大学院修了目前に交通事故に遭う。治療完結に3年を要し、後遺症と傷跡が残る。俳優として舞台や映像作品に出演。

「MILANO FASHION WEEK 2023」にて海外コレクションデビュー。



水口 ミライ / MIRAI MIZUGUCHI

15歳。生まれつき耳が聞こえず、幼稚園から中学までは聾学校、現在は聞こえる高校に通学。中学部2年生から現在の芸能事務所に所属、モデル・俳優として活動を開始。



MOEBA

中部アフリカ出身。日本在住約5年。4ヶ国語話者。インドの大学で国際経営学を学び、母国の非政府機関で勤務。

不安定な政治情勢の中で命の危機を感じて国外に亡命をし、来日。



NAO

東京都在住の現役高校2年生。メイクやファッション、価値観に刺激を受け、ジェンダーレスファッションやメイクをするように。現在は大学受験の為勉強に励んでいる。

DAY1 : 5.14 (TUE)

15:50-16:40 TALK SESSION

多属性の人が巻き込まれる、共に在るための私たちのデザイン

多様な属性の人を巻き込むこと、共存を可能にするデザインの実践者たちによるトーク。

これまで効率化やわかりやすさによって分断・区別されてきたものを、属性を超えて提供するサービスやデザインを実現し、それらを実現するためにさまざまな人を巻き込みながら「共にデザインをする」ということ。わかりにくさや、価値観や特性の多様性ゆえの難しさや、だからこそ実現できることについてそれぞれ異なる分野での実践者たちの視点で語ります。プロダクトデザイン、サービスデザイン、公共や街のデザインなど幅広い実践事例からのお話や課題感をお伝えする予定です。

ファシリテーター・FACILITATOR



田中 美咲 / MISAKI TANAKA

SOLIT株式会社 代表。社会起業家・ソーシャルデザイナー。1988年生まれ。2013年から自然災害・気候変動に関するNGOを8年運営。大学院でMBA取得後、2020年より地球環境と人権の課題解決を行うためSOLIT株式会社を創設。多様な社会課題をデザインで解決する専門家。

話す人・SPEAKER



小池 友紀 / YUKI KOIKE

アパレル業界を経て、広告制作の世界に。企業の広告制作やブランディングを担うフリーランスのコピーライターとして15年活動。ホテルやコスメ、商業施設、社会福祉施設などの広告制作やブランディングサポートを行う。先輩の死、両親の改葬(お墓の引越し)をきっかけに、墓問題と向き合い、循環葬 RETURN TO NATURE を創案。2022年5月、AT FOREST 株式会社を設立。



正木 雄太 / YUTA MASAKI

イギリスの大学を卒業後、対人支援の世界へ。2014年に福祉事業所を設立し、社会福祉士として活動。母親が生前、「お墓に入りたくない」と言っていたが、願いを叶えることができず心残りに。その後、自身も入りたいお墓が見つからず、エンディングの選択肢を増やすべく循環葬 RETURN TO NATURE を共同設立。



大瀧 篤 / ATSUHI OTAKI

一般社団法人 世界ゆるスポーツ協会 理事/スポーツクリエイター。目の前の一人のためのモノづくりを目指し、多様な体験開発に取り組む。ゆるスポーツ「トントンボイス相撲」「ブラックホール卓球」「ARゆるスポーツ」等を企画開発。また、DENTSU LAB TOKYOのクリエイティブ・ディレクター/クリエイティブ・テクノロジストとしてテクノロジーを用いた新しい体験開発に取り組む。カンヌライオンズ、文化庁メディア芸術祭、グッドデザイン賞など受賞。著書に『クリ活2-クリエイターの就活本：デジタルクリエイティブ編』。



森 一貴 / KAZUKI MORI

春から東北芸術大学コミュニティデザイン学科講師。異質なものが集い、新たな関係と協働が生まれる参加型デザインを専門とする。福井県鯖江市を拠点に、私たちでつくる祭典「さばえまつり」、越前鯖江の産業観光イベント「RENEW」、行政とのサービスデザインなど、多様なプロジェクトを手掛けてきた。共訳書にエツィオ・マンズィーニ『こちよい近さがまちを変える』。

DAY1 : 5.14 (TUE)

17:00-17:50 TALK SESSION

ファッションにおける新たな持続の可能性 -情緒的な耐久性とは？

商品寿命の長期化や素材の耐久性だけでなく、私たちができる情緒的耐久性とは。トレーサビリティなど生産背景の透明化、人権などへの配慮、サステナブルマテリアルや、リサイクル・リペアの仕組みなど近年サステナブルファッション・エシカルファッションについて語られるものの、サプライチェーン全体の一部の変化に留まりやすいのが現状です。ここでは、新たな持続可能性の視点として、「情緒的な耐久性を持つファッション」についての実践者から事例を学び、これからのファッションの持続の可能性や選択肢、「ソフト」面でのアプローチやファッションの新しいあり方についてなどを考えます。

ファシリテーター・FACILITATOR



田中 美咲 / MISAKI TANAKA

SOLIT株式会社 代表。社会起業家・ソーシャルデザイナー。1988年生まれ。2013年から自然災害・気候変動に関するNGOを8年運営。大学院でMBA取得後、2020年より地球環境と人権の課題解決を行うためSOLIT株式会社を創設。多様な社会課題をデザインで解決する専門家。

話す人・SPEAKER



石井 拳之 / TAKAYUKI ISHII

株式会社仕立屋と職人 共同代表/グラフィックデザイナー・ナラティブデザイナー。大学卒業後、東京の広告会社でグラフィックデザイナーとして勤務。同時にローカルプロジェクトに多数参加。同社退職後、UNIVERSITY OF THE ARTS LONDONのCENTRAL ST MARTINSで『物語とデザイン』にまつわる研究で修士号取得後、帰国。滋賀県長浜市に移住し、全国津々浦々のプロジェクトにデザイナーとして携わると同時に、株式会社仕立屋と職人の代表として伝統工芸の職人の世界に没入する。2021年度より武蔵野美術大学・造形構想学部の特任准教授に就任。



ワタナベユカリ / YUKARI WATANABE

武蔵野美術大学卒業後、古着のリメイクを中心とした犬の洋服屋にて企画、制作、販売を行う。同時に、モデルやダンサーとして活動。のちに、ものをつくることの根本と技術を学び直すため文化服装学院と「ここのがっこう」をダブルスクールで通う。在学中、仕立屋と職人を結成。2020年法人化、代表取締役就任。2023年よりタンスに眠る着物を受け継ぐシャツブランド【シャナリシャツ】をスタート。



峯村 昇吾 / SHOGO MINEMURA

サービスデザイナー/造形構想株式会社 代表取締役。武蔵野美術大学造形構想研究科造形構想専攻の在学中に、勢いあまって造形構想株式会社を設立。在学中にファッション産業の複雑なサプライチェーンを可視化したサーキュラーダイアグラムを手がけた。2024年2月に持続可能で循環するファッションのためのプロダクション「HUMATERIAL」をスタート。犬のブラッシングが好き。武蔵野美術大学特任研究員。

DAY1 : 5.14 (TUE)

18:10-19:00 TALK SESSION

D&Iを進めたら、見えたこと。-事例から紐解く本当のメリットデメリット-

ダイバーシティ推進の本当の価値とは。「それって儲かるの？」に対する答え。ダイバーシティ推進の価値は近年多岐に渡り語られるものの、未だ課題は多く存在しています。特に日本企業では「それって儲かるの？」という問いは後を絶ちません。グローバルでのDE&I推進を行う団体と、実践企業、企業の推進を伴走支援するSOLITにより「ダイバーシティ推進は経済的にも社会的にも価値のあることなのか」について核心に迫ります。

ファシリテーター・FACILITATOR



和田 菜摘 / NATSUMI WADA

SOLIT株式会社 環境・人権担当。1994年生まれ、東京都出身。英国在住。学生時代は国際開発学を専攻するためにイギリスの大学に進学。大学院にて人類学を基盤とするビジネスの在り方を研究。卒業後に「SOLIT株式会社」に加入。社会課題をビジネスの力で改革する魅力と影響力を身をもって発信していきたい。

話す人・SPEAKER



井田 幸男 / YUKIO IDA

コクヨ株式会社 C S V本部 サステナビリティ推進室室長。1988年入社。人事、提案営業、マーケティング、全社構造改革の業務を経て、2021年より現職、室長に就任。長期ビジョン『BE UNIQUE.』の実現に向け、サステナブル経営と新たな組織能力の推進に取り組み中。仕事に向き合うコンセプトは「WORK HAPPY」。



合澤 栄美 / EMI AIZAWA

THE VALUABLE 500 日本/アジア太平洋地域担当マネジャー。障害者の社会参加推進を中心とした国際協力事業に約20年携わり、インクルージョンに関するコンサルティング専門のベンチャー企業で4年勤務。2021年から2023年にかけて、国際協力機構(JICA)による派遣でパラグアイ国家障害者人権庁にて活動したのち、2024年2月から現職。企業による障害者のインクルージョン推進を通じて社会変革を目指す英国の非営利団体にてアジア太平洋地域を担当。



東 由紀 / YUKI HIGASHI

コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社 執行役員 最高人事責任者 兼 人事・総務本部長。金融とコンサルティング業界で人事およびダイバーシティ推進などを経験後、入社。2023年から現職。同時に、障がいを持つ社員の活躍を推進するコカ・コーラ ボトラーズジャパンベネフィット株式会社の代表取締役社長に就任。社員一人ひとりの多様性を尊重することで、性別、年齢、人種、国籍、性的指向、性自認、性表現等の属性、障がいの有無また就労における様々な制約要因に関わらず、すべての社員が能力を最大限に発揮できる機会を提供する人事戦略に取り組む。

DAY2 : 5.15 (WED)

11:00-11:50 TALK SESSION

社会のバリアの落とし穴。-成功するバリアアリー、失敗するバリアフリー-

敢えてバリアを残すことで助け合いを生み出す設計や、バリアフリーにしすぎて失敗する事例を語る。

2024年4月1日から事業者の法的義務となった障害者差別解消法。ここから多くの企業や施設が変化を求められる中で、物理的バリアを解消して解決したつもりになってしまうケースはとて多いのではないのでしょうか。実は物理的バリアと同じくらい大事なのがソフト面でのバリアに関する理解。様々な課題当事者とその解決を行う事業者と共に、それぞれの立場から、見落としがちなバリアの落とし穴について語ります。

ファシリテーター・FACILITATOR



田中 美咲 / MISAKI TANAKA

SOLIT株式会社 代表。社会起業家・ソーシャルデザイナー。1988年生まれ。2013年から自然災害・気候変動に関するNGOを8年運営。大学院でMBA取得後、2020年より地球環境と人権の課題解決を行うためSOLIT株式会社を創設。多様な社会課題をデザインで解決する専門家。

話す人・SPEAKER



石井 健介 / KENSUKE ISHII

ブラインドコミュニケーター。1979年生まれ。アパレルやインテリア業界を経てフリーランスの営業・PRとして活動。2016年、36歳の時に一夜にして視力を失う。ダイアログ・イン・ザ・ダークでの勤務を経て独立。見える世界と見えない世界をポップに繋ぐためのワークショップや講演活動をしている。TBSラジオ制作PODCAST「ミエナイわたしの、聞けば見えてくるラジオ」パーソナリティ。



宮田 尚幸 / NAOYUKI MIYATA

文具、服飾小物の開発デザインを経て、北欧デンマークでの生活から見てきた「DESIGN FOR CARE」をコンセプトに、道具・環境・コミュニケーションの視点から心理的安全性の探究とデザインを行う。2021年8月に、風と地と木 合同会社を設立し、人に生きる力を与える美しさのデンマーク生まれのカスタムメイド杖ブランドVILHELM HERTZ JAPAN (ヴィルヘルム・ハーツ・ジャパン) の運営母体としている。VILHELM HERTZ JAPANの事業が2022年GOOD DESIGN AWARD 金賞受賞、2024年GERMAN DESIGN AWARD WINNER。



横井 志教 / MOTONORI YOKOI

株式会社アイシン YYSYSTEM担当。三重県出身。アイシングループ会社にて、人事担当者として社員採用、人事制度構築を担当。障がい当事者も含めた従業員のキャリア開発に従事。2023年より聴覚者障がい当事者や高齢者などの、聞こえに困難を抱える方のコミュニケーションを支援するYYSYSTEMのプロモーション・マネジメント業務を担当している。

DAY2 : 5.15 (WED)

12:10-13:00 TALK SESSION

無意識の偏見とは?-難民モデルと考える今世界の中で必要なこと

バイアスが消えない社会で、難民モデルの存在が今必要とされる理由とは。

難民の就労伴走を行う団体と、難民モデルを起用したSOLIT。それぞれの取り組みが必要な社会構造や背景とともに、なぜ今難民が「表に立ち、自分を表現する」ことが必要なのか。その背景に潜む、私たちの身近なところに潜むマイクロアグレッション(無意識下の偏見)や、当事者が感じる「バイアス」「それによる困難」と、私たちが今できることと必要なことについて語ります

ファシリテーター・FACILITATOR



和田 菜摘 / NATSUMI WADA

SOLIT株式会社 環境・人権担当。1994年生まれ、東京都出身。英国在住。学生時代は国際開発学を専攻するためにイギリスの大学に進学。大学院にて人類学を基盤とするビジネスの在り方を研究。卒業後に「SOLIT株式会社」に加入。社会課題をビジネスの力で改革する魅力と影響力を身をもって発信していきたい。

話す人・SPEAKER



林 将平 / SHOHEI HAYASHI

特定非営利活動法人WELGEE 広報・マーケティング担当。1995年東京生まれ・千葉県育ち。早稲田大学国際教養学部卒。スウェーデンへの交換留学がきっかけで難民問題に関心をも持つ。その後、同年代の難民の人々と共に暮らす中で、日本社会の中で埋もれてしまっている彼らの可能性を伝えることをミッションに、2018年1月にWELGEEに入職。WELGEEでは広報・マーケティング・ファンドレイジングの業務を主に担当し、プライバシー保護が必要な難民の方々やメディア関係者と協働し、年間100件以上の取材調整や50社以上との法人連携やファンドレイジング等を手掛ける。トビタテ！留学JAPAN2期生。



MOEBA

中部アフリカ出身。日本在住約5年。4ヶ国語が話せ、ひらがな、カタカナ、漢字の読み書きができる。インドの大学で国際経営学を学び、母国の非政府機関で勤務。不安定な政治情勢の中で命の危機を感じて国外に亡命をし、来日。認定NPO法人難民支援協会を通じて、商船三井ロジスティクス株式会社に就職。同社の海外事業における、国際空港輸送や人材育成の担当者として従事。

DAY2 : 5.15 (WED)

15:10-16:10 TALK SESSION

エンターテインメントにおける多様性の生み出し方 - 当事者起用と世界的な潮流

当事者がしっかりと反映される重要性 IN エンターテインメント/メディア。当事者の役に当事者を使わないことや、文化の盗用を無視した起用など、エンターテインメントにおけるレプレゼンテーションについては、多くの媒体で近年問題視されています。なぜ変わらなくてはならないのか、なぜ問題なのかといった基礎的な課題共有とともに、その背景で起きる当事者が感じる課題、あるいは発信者となるメディア側からの視点から、今後どのようにエンターテインメントやメディアにおいて多様性を生み出していくことができるのかを考えます。

ファシリテーター・FACILITATOR



田中 美咲 / MISAKI TANAKA

SOLIT株式会社 代表。社会起業家・ソーシャルデザイナー。1988年生まれ。2013年から自然災害・気候変動に関するNGOを8年運営。大学院でMBA取得後、2020年より地球環境と人権の課題解決を行うためSOLIT株式会社を創設。多様な社会課題をデザインで解決する専門家。

話す人・SPEAKER



桑山 知之 / TOMOYUKI KUWAYAMA

平成元年名古屋生まれ。慶應義塾大学経済学部を卒業後、2013年に東海テレビ放送入社。記者・ディレクター、ドキュメンタリーCMプロデューサーなどを経て2023年よりヘラルボニーのクリエイティブディレクターとして入社。主な受賞歴は、日本民間放送連盟賞CM部門最優秀賞、ACCゴールド、JAA広告賞 消費者が選んだ広告コンクール経済産業大臣賞、広告電通賞SDGS特別賞・フィルム広告金賞など。



丸山 晴生 / HARUKI MARUYAMA

1995年生まれ28歳。2018年に事故で脊髄を損傷。大学と二足歩行をほぼ同時卒業し車椅子ユーザーとなる。退院後に上京し、メーカー商社に人事として勤務。2023年に業界・演技未経験ながらオーディションを経て、NHK BSプレミアムの連続ドラマ「家族だから愛したんじゃない、愛したのが家族だった」(3〜7話)に出演。現在は会社を退職し俳優の他、フォトグラファーとしても活動。



クリスティン ヘンフィル / CHRISTINE HEMPHILL

障害と年齢を包括するインクルーシブの研究者、デザイナー、イノベーター。英国を拠点にグローバルに活動するエージェンシー、OPEN INCLUSIONを設立、代表。OPEN INCLUSIONは、障害と年齢を包括した市場、社会、デザイン、イノベーション・リサーチにおけるマーケットリーダー。クリスティン自身は、アクセシビリティ、インクルーシブデザイン、リサーチ、新技術、イノベーションに関するカンファレンスで定期的に講演を行う。また、MRS UNLIMITED (障害者インクルーシブ研究者および研究組織)の現会長、MRS認定会員、MRS EDI評議会のメンバーでもある。また、GLOBAL ACCESSIBILITY AND INCLUSION LEADERS NETWORK (GAILS)のメンバー、ASSOCIATION FOR THE FUTURE OF WORKのパートナー、CO-INNOVATE BRUNEL UNIVERSITYのアンバサダーを務める。